

事後評価説明資料

社会資本整備総合交付金事業（下水道）

「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)」

「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(重点計画)
(防災安全)」

「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(防災安全)」

- 1 茨木市の主な下水道事業
- 2 社会資本整備総合計画の事業概要
- 3 目標値の達成状況
- 4 事業効果の発現状況と今後の方針
- 5 今後のスケジュール

3つの計画
をまとめて
説明

1 茨木市の主な下水道事業

(1) 汚水整備

下水道事業等のあゆみ

昭和37年 中央排水区（合流式）で公共下水道事業を開始

昭和45年 安威川流域下水道（中央処理区）の終末処理場（中央水みらいセンター）が供用開始

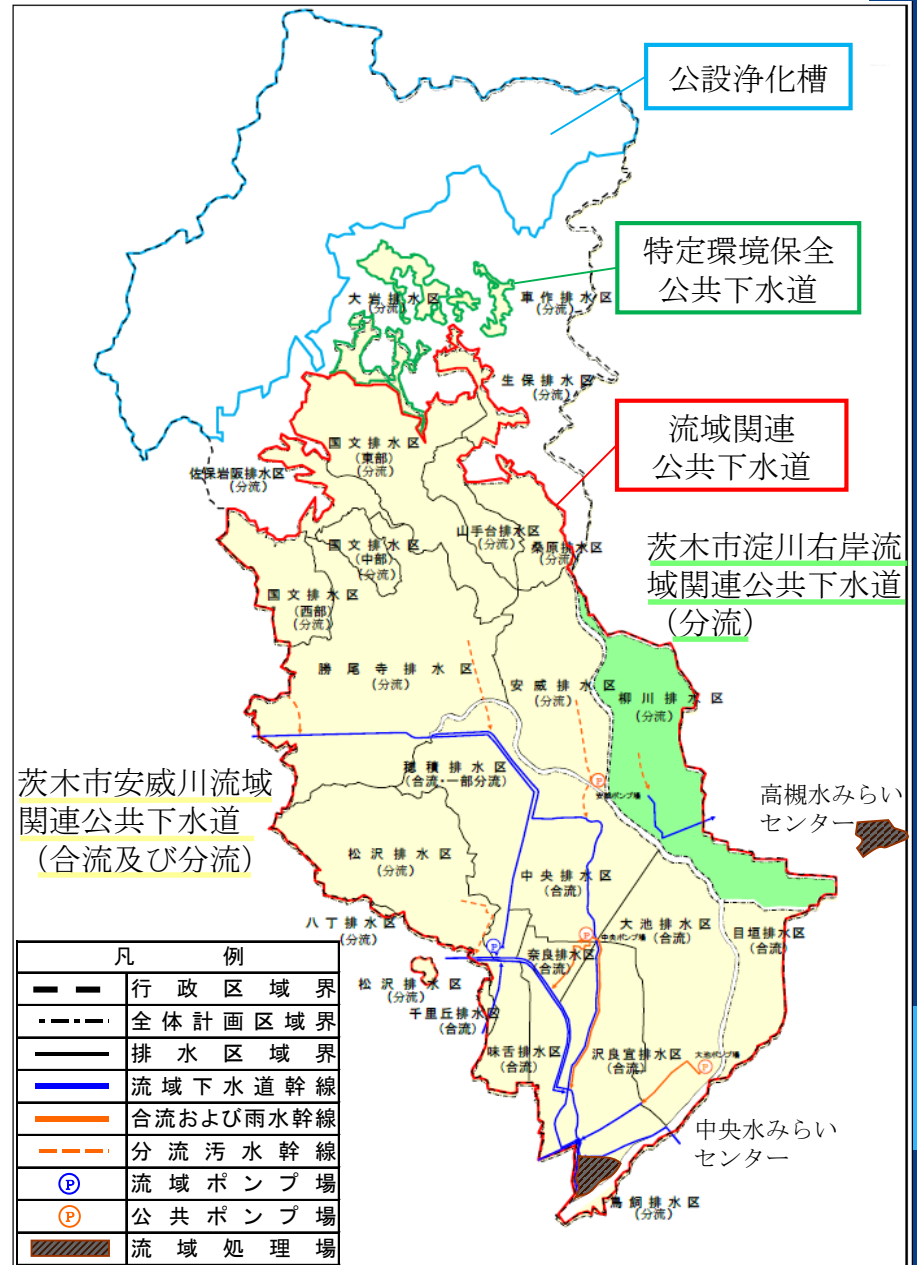
昭和58年 淀川右岸流域下水道（高槻処理区）の終末処理場（高槻水みらいセンター）が供用開始

平成16年 大岩・車作排水区（分流式）で特定環境保全公共下水道事業を開始

平成25年 下水道整備区域外で公設浄化槽事業を開始

本市は、平成22年度末時点で普及率99%を超えるまでに汚水整備が進んでいる。

以降、未普及個所の解消に向けた汚水整備を実施している。



(2) 雨水整備

背景

昨今の都市化による雨水の保全・遊水機能の低下及び豪雨等により市内の一部の地区で浸水被害が発生

(平成26年度末時点 雨水整備率35%程度)

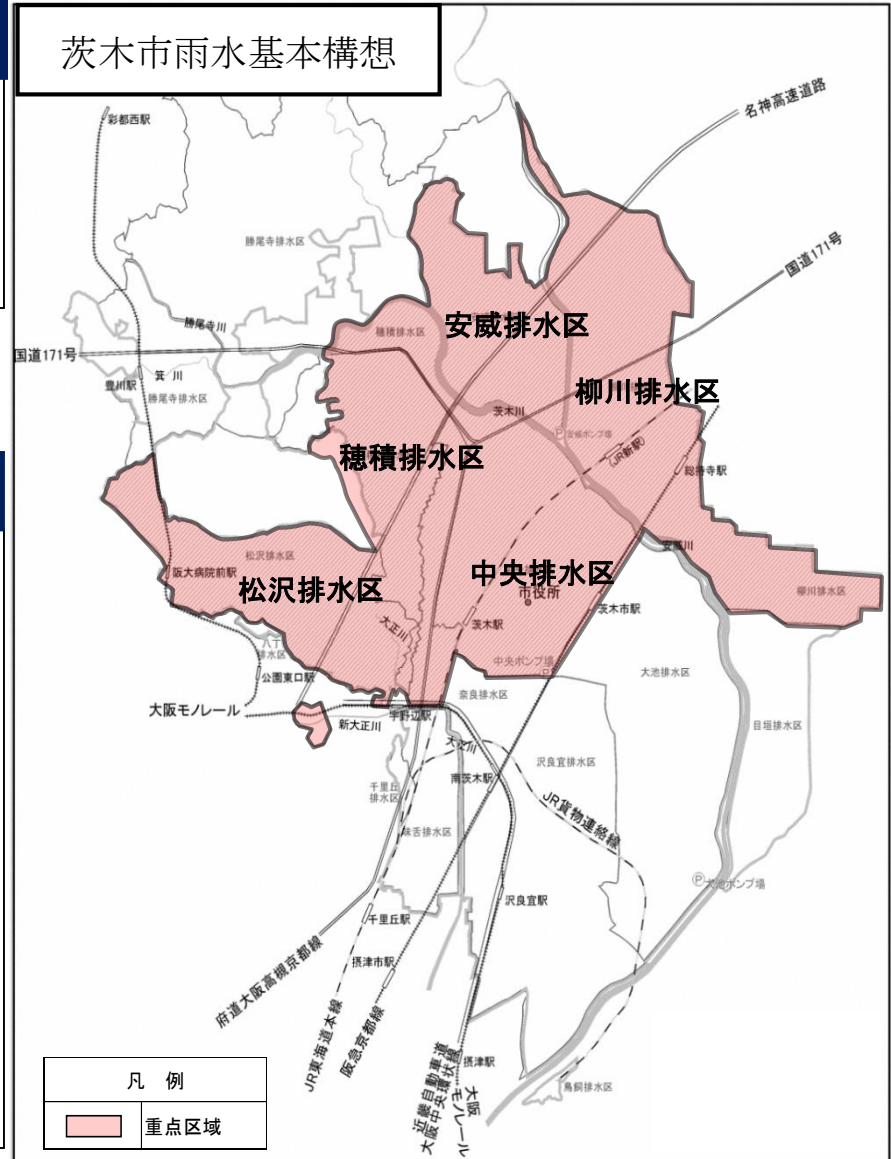


雨水整備の主な取り組み

平成26年度 第5次茨木市総合計画重点プラン「総合的な雨水対策の推進」を掲げ、雨水管整備等のハード対策と雨水貯留タンク設置補助金の交付等のソフト対策をあわせたもの

平成28年度 「茨木市雨水基本構想」を策定
雨水整備の優先地域（重点区域）等を定めたもの

以降、主に重点区域の雨水整備を実施



(3) 下水道施設の改築更新と地震対策

背景

- ・ 標準耐用年数を迎える下水道管路が増加し、下水道施設の老朽化は急速に進む
- ・ 本市は東南海・南海地震対策推進地域



改築更新と地震対策の主な取り組み

【改築更新】

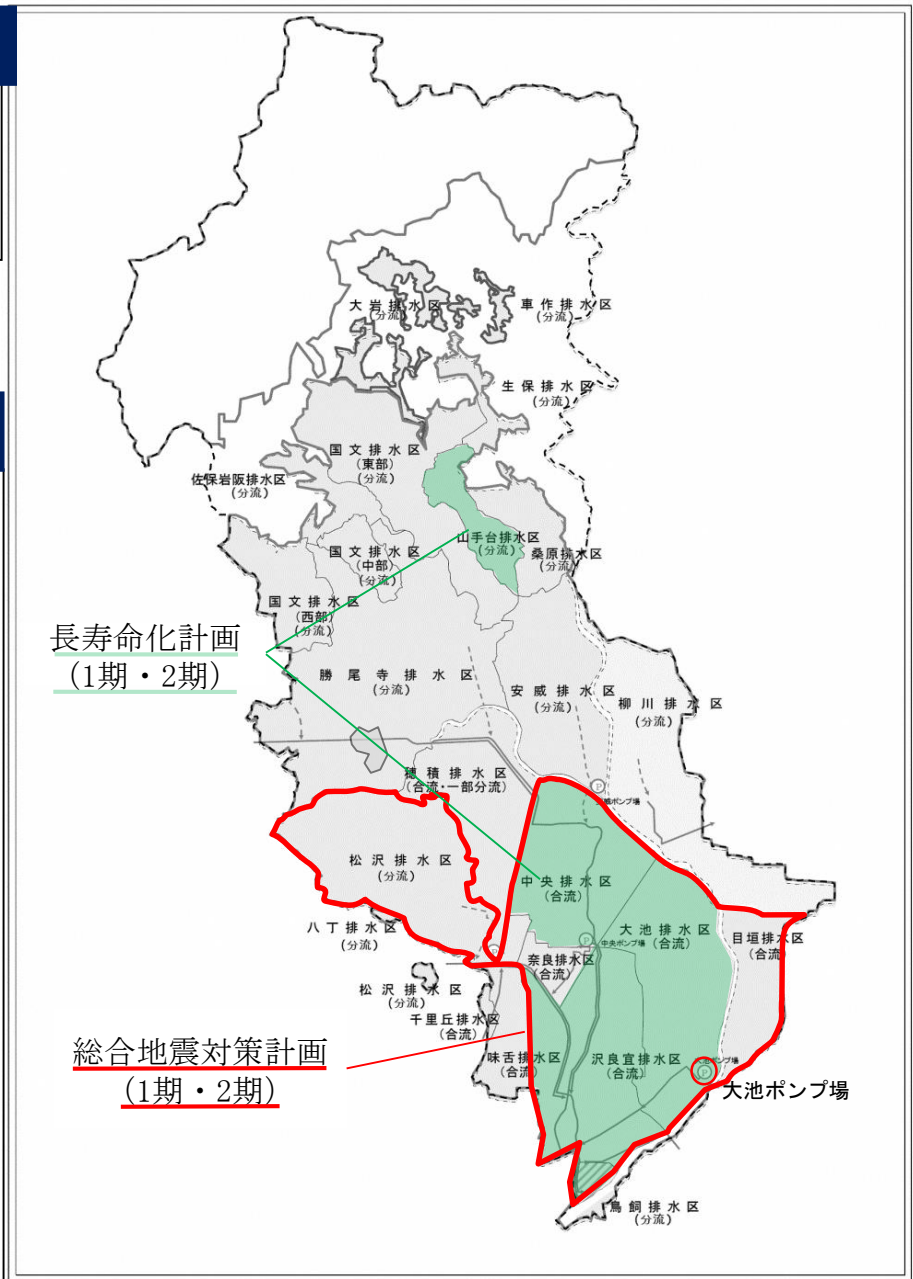
平成24年度「下水道長寿命化計画」を策定
下水道施設を効率的に運用し、機能の維持や長寿命化を含めた計画的な改築を図るもの

平成27年度「下水道長寿命化計画(2期)」を策定

【地震対策】

平成26年度「下水道総合地震対策計画」を策定
緊急輸送路等に埋設された管路やポンプ場等の重要な下水道施設を対象に計画的な耐震化を図るもの

平成29年度「下水道総合地震対策計画(2期)」を策定



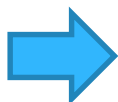
2 社会資本整備総合計画の 事業概要について

(1) 主な下水道事業と社会資本総合整備計画の関係

主な下水道事業

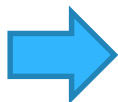
社会資本総合整備計画

・ 汚水整備



茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）

・ 雨水整備（ハード対策）



茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（重点計画）
（防災安全）

・ 雨水整備（ソフト対策）
・ 下水道施設の改築更新
・ 下水道施設の地震対策



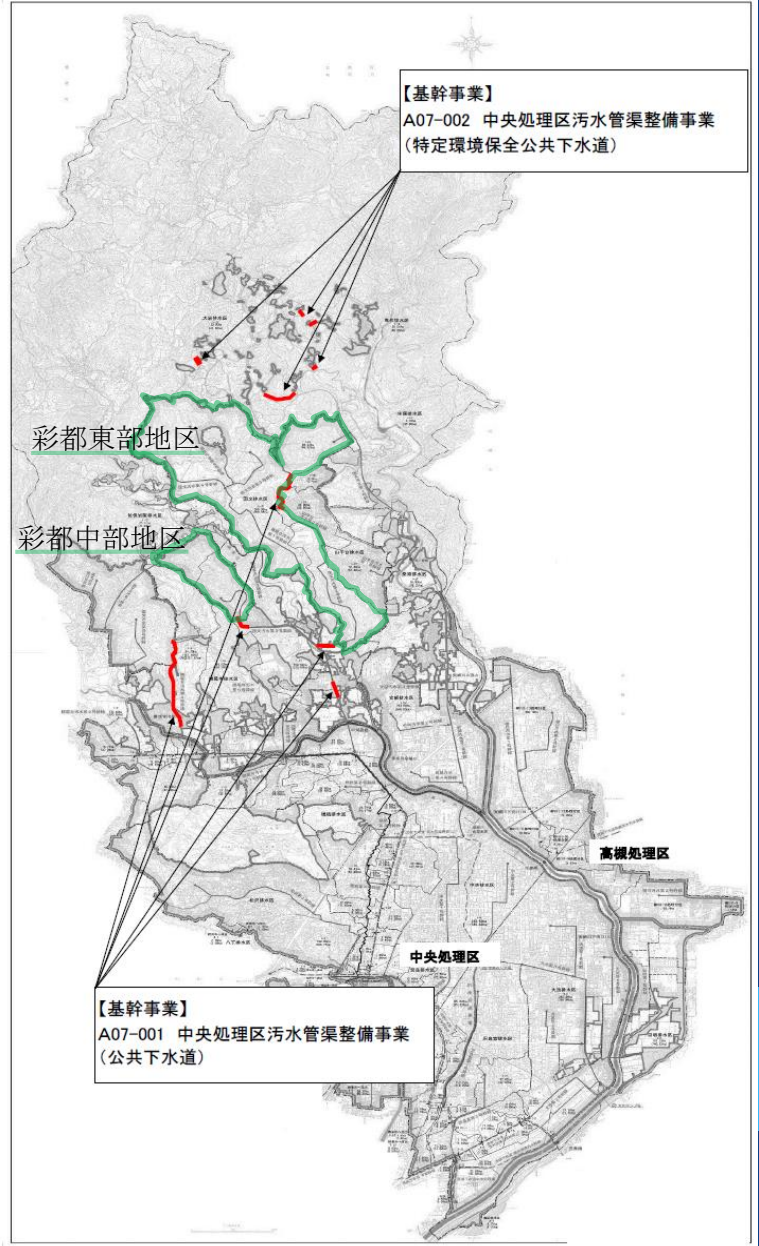
茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（防災安全）

(2) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) の事業概要

【計画の目標】
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

交付対象事業

番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)
			H27	H28	H29	H30	H31	
A07-001	中央処理区污水管渠整備事業 (公共下水道)	L=2,790m φ 150~300 開削・推進、実施設計他	■	■	■	■	■	214
A07-002	中央処理区污水管渠整備事業 (特定環境公共下水道)	L=688m φ 75~200 開削、舗装復旧他	■	■				44
合計								258

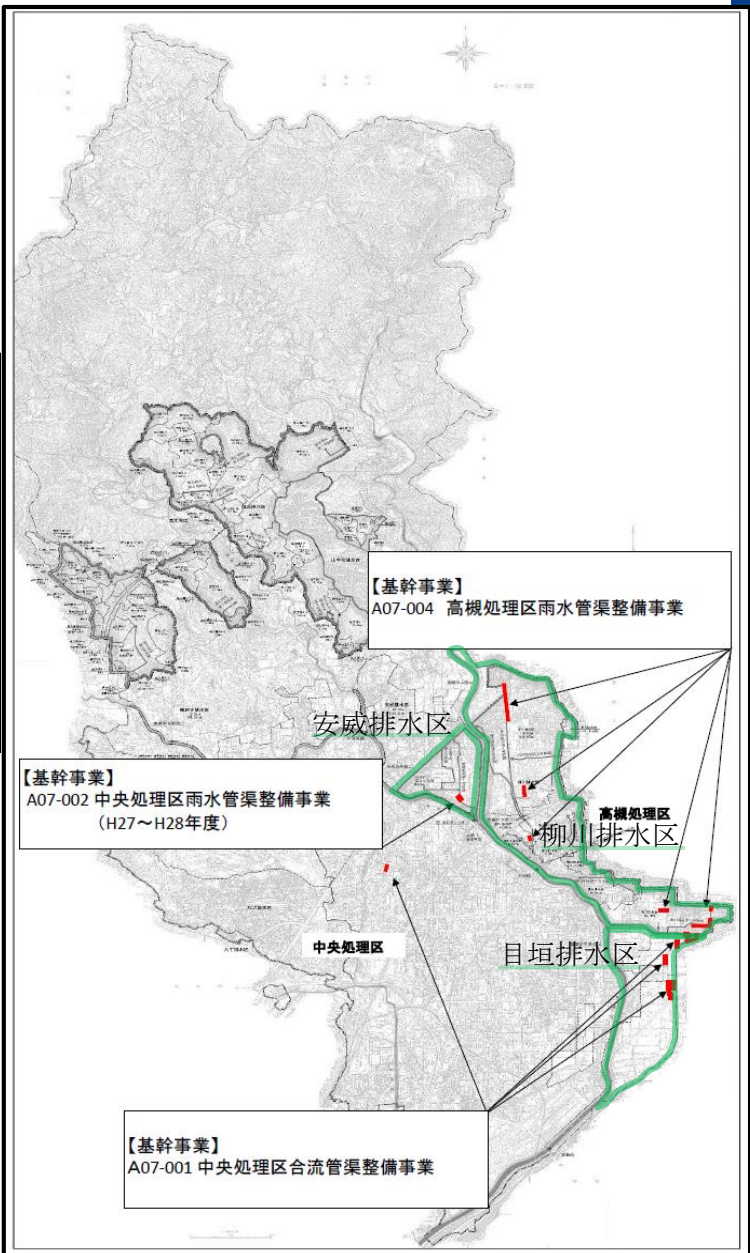


(3) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (重点計画) (防災安全) の事業概要

【計画の目標】
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

交付対象事業

番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)
			H27	H28	H29	H30	H31	
A07-001	中央処理区合流管渠整備事業	L=1,134m φ 250~700 開削・推進、実施設計他	■	■	■	■	■	249
A07-002	中央処理区内排水区雨水管渠整備事業	L=193m □3000×1700 開削・推進、舗装復旧	■	■				183
A07-003	高槻処理区内排水区雨水管渠整備事業	L=1,327m φ 300~1800 開削・推進、実施設計	■	■		■	■	571
合計								1,003

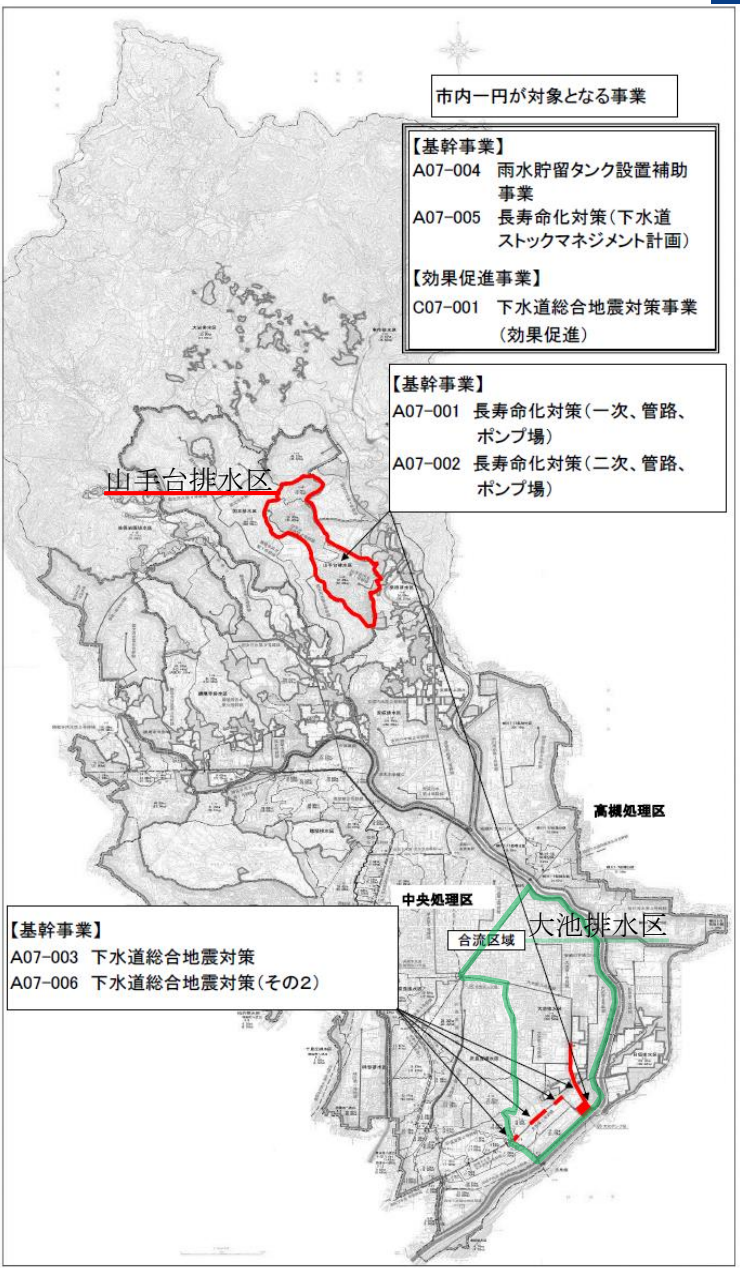


(4) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全) の事業概要

【計画の目標】
 下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

交付対象事業

番号	要素事業名	事業内容	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)
			H27	H28	H29	H30	H31	
A07-001	長寿命化対策 (一次、管路、ポンプ場)	L=1.95km 改築更新、ポンプ場建築付帯動力設備更新他		■				204
A07-002	長寿命化対策 (二次、管路、ポンプ場)	L=1.58km 改築更新、ポンプ場沈沙池設備更新 (機械・電気) 他			■	■	■	1,300
A07-003	下水道総合地震対策事業	L=1.0km 耐震化、ポンプ場ポンプ棟耐震補強他		■	■			1,597
A07-004	雨水貯留タンク設置補助事業	雨水貯留タンク設置 34基			■	■	■	2
A07-005	長寿命化対策 (下水道ストックマネジメント計画)	下水道ストックマネジメント計画策定				■	■	52
A07-006	下水道総合地震対策事業 (その2)	L=1.0km 耐震化、中央ポンプ場耐震診断				■	■	1,791
C07-001	下水道総合地震対策事業 (効果促進)	下水道BCP策定			■			5
							合計	4,951



3 目標値の達成状況

(1) 社会資本総合整備計画とその成果目標（定量的指標）

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）

指標1 特定環境保全区域人口普及率

指標2 下水道処理人口普及率

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（重点計画） （防災安全）

指標1 下水道による都市浸水対策達成率

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（防災安全）

指標1 大池ポンプ場における長寿命化対策実施率

指標2 下水道管渠における長寿命化対策実施率

指標3 主要な管渠の地震対策実施率

指標4 主要なポンプ場の地震対策実施率

指標5 雨水貯留タンク設置の実施率

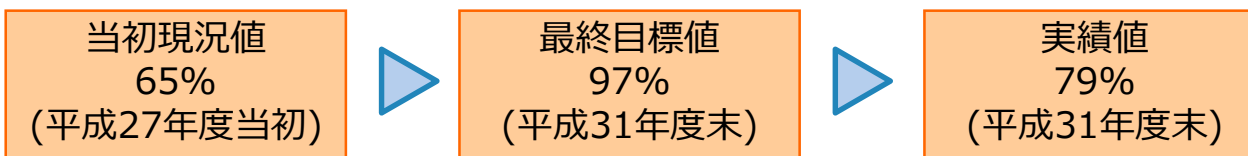
(2) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2)

◆指標1：特定環境保全区域人口普及率

【目標値の達成状況】

指標について

- 特定環境保全区域人口普及率
＝特定環境保全区域で下水道を利用できる人口（560人）÷特定環境保全区域内人口（709人）
- 特定環境保全区域人口は、住民基本台帳による丁町字別人口を使用



数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

対象区域において、費用負担などの問題から下水道へ接続を希望する住民が予想より少なかったため。

(3) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2)

◆指標2：下水道処理人口普及率

【目標値の達成状況】

指標について
<ul style="list-style-type: none">下水道処理人口普及率 ＝下水道を利用できる人口（281,039人）÷総人口（282,705人）総人口は、住民基本台帳による丁町字別人口を使用



(4) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (重点計画) (防災安全)

◆指標1：下水道による都市浸水対策達成率

【目標値の達成状況】

指標について

- 下水道による都市浸水対策達成率
＝浸水対策済み面積（1,801ha）÷下水道で浸水対策を実施すべき面積（4,444ha）
- 浸水対策済み面積は、10年に1度程度（約50mm/h）の降雨に対応した下水道管等が受持つ面積を使用

当初現況値
34.9%
(平成27年度当初)



最終目標値
39.1%
(平成31年度末)



実績値
40.5%
(平成31年度末)

数値目標を達成

目標値と実績値
に差が出た要因

計画的な下水道雨水整備に加え、土地区画整理事業地内で整備が行われたため。

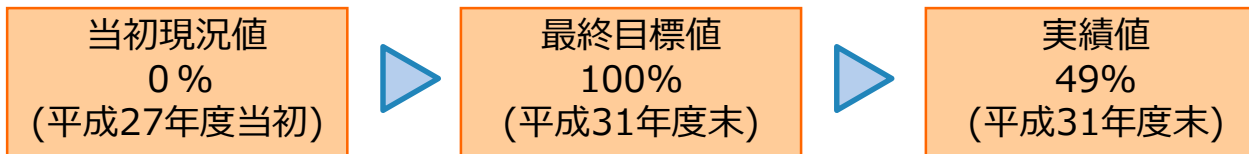
(5) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全)

◆指標1：大池ポンプ場における長寿命化対策実施率

【目標値の達成状況】

指標について

- 大池ポンプ場における長寿命化対策実施率
＝長寿命化対策実施済み数（175箇所）÷長寿命化計画対象数（360箇所）



数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

優先度を踏まえながら、予算の平準化などを考慮して後年度への繰越しや機械設備を分解整備することで健全度を高める等、更新予定の対象施設を見直したためである。なお、未対策の対象施設については、令和2年度策定予定の下水道ストックマネジメント計画に基づき計画的な改築更新を引き続き実施する。

(6) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全)

◆指標2：下水道管渠における長寿命化対策実施率

【目標値の達成状況】

指標について

- 下水道管渠における長寿命化対策実施率
＝長寿命化対策実施済みの管渠延長（3.55km）÷長寿命化計画対象管渠延長（4.02km）

当初現況値
0%
(平成27年度当初)



最終目標値
100%
(平成31年度末)



実績値
88%
(平成31年度末)

数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

優先度を踏まえながら、予算の平準化などを考慮して後年度へ繰り越したためである。なお、未対策の対象管渠については、令和2年度策定予定の下水道ストックマネジメント計画に基づき計画的な改築更新を引き続き実施する。

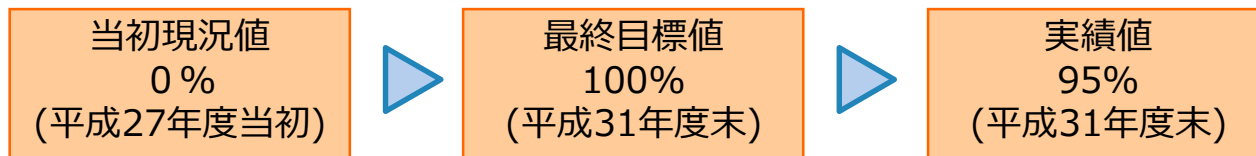
(7) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全)

◆指標3：主要な管渠の地震対策実施率

【目標値の達成状況】

指標について

- 主要な管渠の地震対策実施率
＝耐震対策実施済みの管渠延長 (2.0km) ÷ 総合地震対策計画対象管渠延長 (2.1km)



数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

計画期間中に新たに示されたガイドラインに則ると、耐震対策要件に該当しない路線が判明した。そのため、計画期間の翌年度以降に予定していた路線を前倒しして対策を実施したので、耐震対策事業としては当初計画より進んでおり、順調に地震に対する安全度の向上が図れた。

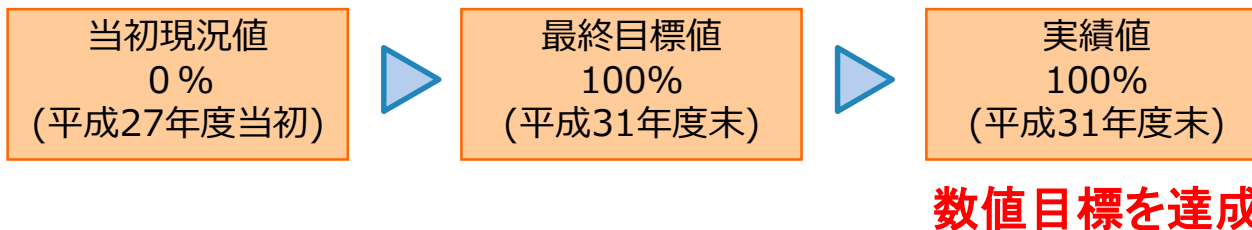
(8) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全)

◆指標4：主要なポンプ施設の地震対策実施率

【目標値の達成状況】

指標について

- 主要なポンプ施設の地震対策実施率
＝耐震対策実施済みの施設数（1箇所）÷総合地震対策計画の対象施設数（1箇所）



(9) 茨木市における総合的な下水道整備の推進 (その2) (防災安全)

◆指標5：雨水貯留タンク設置の実施率

【目標値の達成状況】

指標について

- 雨水貯留タンク設置の実施率
＝雨水貯留タンク設置基数（61基）÷雨水貯留タンク設置の計画基数（300基）

当初現況値
0%
(平成27年度当初)



最終目標値
100%
(平成31年度末)



実績値
20%
(平成31年度末)

数値目標を未達成

目標値と実績値
に差が出た要因

計画策定時直近の実績基数を踏まえて目標を設定したが、設置希望者に一定いきわたったためか、設置希望者が予想より少なかったため。

4 事業効果の発現状況と今後の方針

(1) 事業効果の発現状況

・ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）

污水管整備により下水道処理人口普及率が向上し、下水道の利用により生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全が一定図れた。

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（重点計画） （防災安全）

雨水管整備により都市浸水対策率が増加し、浸水に対する安全度が向上した。

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（防災安全）

- ・ 長寿命化対策により下水道施設の持続的な機能確保及び下水道施設に起因する事故の未然防止が一定図れた。
- ・ 下水道施設の耐震化により地震に対する安全度の向上及び安定した都市活動の継続が図れた。
- ・ 雨水貯留タンク設置により雨水の流出抑制が図れた。

(2) 今後の方針

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）

引き続き污水管整備及び未接続家屋への接続切替促進に努め、更なる下水道処理人口普及率の向上を図っていく。

- 未普及箇所への污水管整備
- 彩都東部地区土地区画整理事業の進捗にあわせた周辺污水幹線の整備

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（重点計画） （防災安全）

雨水管整備等には莫大な費用と相当な期間を要することから、雨水整備の優先地域等を定めた茨木市雨水基本構想に基づいた計画的な雨水整備を行っていく。

- 柳川排水区において雨水管等の整備
- 中央排水区において貯留管及び増補管の整備
- 松沢排水区において雨水管等の整備に向けた現況調査及び法手続き

(3) 今後の方針

茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）（防災安全）

- 下水道施設全体を対象に施設管理の最適化を目的として令和2年度に策定する下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検・調査及び修繕・改築を実施していく。
 - ・下水道ストックマネジメント計画に基づく緊急度に応じた管路の改築
 - ・下水道ストックマネジメント計画に基づく健全度に応じたポンプ場の修繕及び改築
- 令和2年度に策定する下水道総合地震対策計画（3期）に基づき、耐震性能が不足している管路やポンプ場について、引き続き耐震化を進めていく。
 - ・大池排水区、沢良宜排水区において管路の耐震化
 - ・中央ポンプ場のあり方検討
 - ・安威ポンプ場の耐震対策
- 雨水貯留タンクの更なる普及促進に努め、ハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な雨水対策の推進に取り組んでいく。

5 今後のスケジュール

今後のスケジュール

- 建設事業評価委員会の開催(令和3年1月18日)
- 事後評価結果の国への報告(令和3年2月)
- 事後評価書の公表(令和3年3月～)
 - ・ホームページにて公表